

2021年度 14期生門戸班活動報告

活動メンバー：7名、担当教員：吉益光一 教授、文責：人間科学部 ESD 推進室

「もっと挑戦もっと門戸」を合言葉に、学生と地域の架け橋になることを目指しました。SNS で班の活動やおすすめスポットについて積極的に発信しました。門戸厄神地域活性化実行委員会主催の「井戸端会議」にも参加し、地域の皆様のご意見をうかがいました。

●オリジナルロゴマーク作成●



「地域全体が幸せで包まれるように」と願いを込め、本学の校章のモチーフであるクローバー型にてんとうむしを配置したオリジナルロゴマークを作成しました。ロゴマークは Instagram のアカウント画像のほか、自作のマップの表紙にも使用したり、学内販売の商品に貼付したりしました。

●コラボ商品開発●

パン工房りょうさんにご協力いただき、コラボ商品を2種類開発しました。1つは生地の風味もトッピングも異なる5色の「てんとうむしパン」です。もう1つはパンやキッシュなど3品を詰めた「ランチボックス」で、2種類の組合せがあります。お店の人気商品を取り入れつつ、写真を撮りたくなる見た目にもこだわりました。



また、サザエ食品さんとは梅スイーツを考案しました。門戸厄神地域の梅を使った梅酒「こいうめ」を漬けたあとの梅の実を利用したスイーツ開発に12期生から取り組んでおり、いくつかサンプルを作っていただけまで進みました。

●ウォーキングマップ作成●

阪急門戸厄神駅～甲東園駅周辺のおすすめの飲食店やスポットを紹介する『ウォーキングマップ』を作成しました。マップは持ち運びやすいA5サイズで、広げるとA3サイズになります。全部で11のお店と5

つのスポットを紹介しています。コロナ禍の運動不足解消を狙い、掲載エリアを広げコースを2つ設定したのも工夫した点の1つです。本学のオウンドメディア「わからないから、おもしろい。」でも門戸班のおすすめスポットを紹介しています。

『ウォーキングマップ』は各学部事務室前や食堂など学内各所のほか、掲載店で配布中です。1月に門戸厄神東光寺で実施された「厄除大祭」でも配布いただきました。また、本プログラムの公式HP、Twitter、Instagram でデジタル版を公開しています。



●学内販売「もっとモンド祭」●

(日時) 2021年11月25日(木)、12月9日(木)

2022年1月20日(木)

(場所) 神戸女学院大学

(学生スタッフ) 5~6名

パン工房りょうさんとのコラボ商品に加え、第1~2弾ではじゅとう屋さんのオリジナルお弁当を、第3弾ではナガサキヤロースターさん、gnomeさん、サザエ食品さんの人気テイクアウト商品を販売しました。全商品あわせて各回80食、50食、94食を用意し、いずれも完売しました。コラボ商品は特に好評で、短時間で売り切れた回もありました。



●オープンキャンパスコラボ企画●

(日時) 2021年12月12日(日)

(場所) 神戸女学院大学

(来場者) 136組 (約 272名)

(学生スタッフ) 4名



通学路にある飲食店6店舗にご協力いただき、オープンキャンパス当日のみ使用できるクーポンを作成し、お店

紹介マップとともに来場者へ配付しました。実際に46枚のクーポンをご利用いただけました。さらに、2021年度の活動班4班がそれぞれ作成した活動紹介ポスターを掲示し、本プログラムの説明も行いました。

門戸班の活動については、大学の広報誌「Vistas」41号でも取り上げていただけることになりました。マップや広報記事をきっかけに、門戸厄神駅周辺を散策し、お店をご利用いただけたらとても嬉しいです。門戸厄神地域活性化実行委員会の皆様、活動にご協力くださった各店舗の皆様、地域住民の皆様には本当にお世話になりました。ありがとうございました。